

学生及び保護者のみなさま

令和5年度決算について

国立大学法人鹿児島大学の令和5事業年度財務諸表が令和6年8月30日付けで文部科学大臣から承認を受けました。

国立大学法人は、国から負託された業務の実施に関して財務情報に基づく財政状態や運営状況に関する説明責任を果たすため、財務諸表を作成し公表することとされています。

財務諸表は、企業会計原則に基づきながら国立大学法人の主たる業務が教育研究であること、授業料等の学生納付金や附属病院収入等の業務特性があること等に配慮し固有の会計処理を定めた「国立大学法人会計基準」等に従い作成しております。国立大学法人会計基準の概要等については、別紙で「財務のミカタ」でわかりやすく取りまとめておりますので併せてご確認くださいと思います。

また「財務諸表の概説」では財務情報に加え、令和5年度成果・実績等の非財務情報についても記載し、本学の状況をより分かりやすく表記するものとなっております。

本学の令和5年度末における財政状態は、貸借対照表にありますように資産が1,572億円、負債が570億円、純資産が1,001億円となっております。また、本学の令和5年度における運営状況は、損益計算書にありますように経常収益が529億円、経常費用が558億円となり、臨時利益及び臨時損失を含めると26億円の当期総利益となります。

本学を取り巻く財務状況は、法人化以降の運営費交付金の削減など大変厳しく、効果的かつ合理的な大学運営が強く求められております。

このような状況を踏まえ、本学は業務の効率化等による経費節減や自己収入等の増加を図るなど、より一層の財政基盤の強化を進めていくとともに、教育・研究・診療・社会貢献活動等の更なる充実・向上に努めて参ります。

今後とも皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国立大学法人鹿児島大学

理事（財務・施設担当） 藤澤 亘

鹿児島大学の年次決算について、従前から、大学ホームページ上や官報公告で財務諸表を公表しておりましたが、昨今、学生・保護者・卒業生・地域住民・産業界等の各ステークホルダーに対して、より積極的な情報開示を求められていることを踏まえ、令和元年度決算分より、年次決算の概要を情報開示しており、財務情報の詳細についてはホームページ（<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/zaimu.html>）をご確認ください。

【参考資料（ホームページ掲載）】

「財務諸表の概説」

令和5年度成果・実績等の非財務情報や他大学の比較等により本学の状況をわかりやすく表記しております。

「財務のミカタ」

国立大学法人会計基準の概要等を取りまとめています。



令和5年度 国立大学法人鹿児島大学 年次決算（概要）



貸借対照表

【期末時点の財政状態】

資産	負債
157,247 (+9,829)	57,050 (+7,419)
	純資産
	100,197 (+2,410)
	(内数)
	当期末処分利益
	2,685

損益計算書

【一事業年度の運営状況】

経常費用	経常収益
52,929 (+633)	55,829 (+477)
臨時損失 700 (+410)	
当期総利益	臨時利益 449(▲11,658)
2,685(▲12,235)	繰越積立金取崩等 36(▲11)

決算報告書

【国の会計制度に準拠】

収入	支出
66,249	64,192
	収支差 2,057

(内訳)	
外部資金収支差	▲404
翌年度繰越等	368
減価償却引当特定資産	2,093
目的積立金申請	0

利益の処分に関する書類

【未処理利益の処分内容】

利益処分額	2,685
(内訳) 目的積立金	0
積立金	2,685

※ 単位は百万円です（カッコ内は前年度増減）。

※ 単位未満の端数処理の関係上、合計額等が合わない場合があります。

■ 主な変動の要因

令和5年度は、外来診療棟・病棟（A棟）が令和6年1月に完成しました。また、教育研究の水準維持のために保有する資産（施設設備）の更新を行う資金を計画的に積立てる減価償却引当特定資産を計上しております。

【資産】

- ・ 外来診療棟・病棟（A棟）や入来牧場実験研究棟の完成により建物・構築物の増加（+13,030百万円）
- ・ 外来診療棟・病棟（A棟）等の完成により建設仮勘定の減少（▲5,314百万円）
- ・ 次年度以降の資産更新のための積立を行ったことによる減価償却引当特定資産の増加（+2,092百万円）

【負債】

- ・ 病院再開発に伴う借入金の増加（+7,649百万円）

【経常費用】

- ・ 診療報酬稼働額増加に伴う医薬品費等の増加及び光熱水費の高騰による診療経費増加（+1,229百万円）
- ・ 次年度以降の資産更新のための積立に伴う教育経費等の減少（▲563百万円）

【経常収益】

- ・ 手術件数の増加等による入院診療単価の向上等による附属病院収益の増加（+1,218百万円）
- ・ 病院の新型コロナに伴う補助金廃止により補助金収益の減少（▲1,207百万円）

【臨時損失】

- ・ 外来診療棟・病棟（A棟）等に伴う撤去費等

【臨時利益】

- ・ 過年度会計処理（資本剰余金等）の修正等
（令和4年度は会計基準改正に伴う資産見返負債の廃止に伴う収益化等があったため）

【損益等】

- ・ 当期総利益 2,685百万円（▲12,235百万円）

担当：鹿児島大学財務部財務課決算係

電話番号：099-285-7135

mail：kessan@kuas.kagoshima-u.ac.jp